

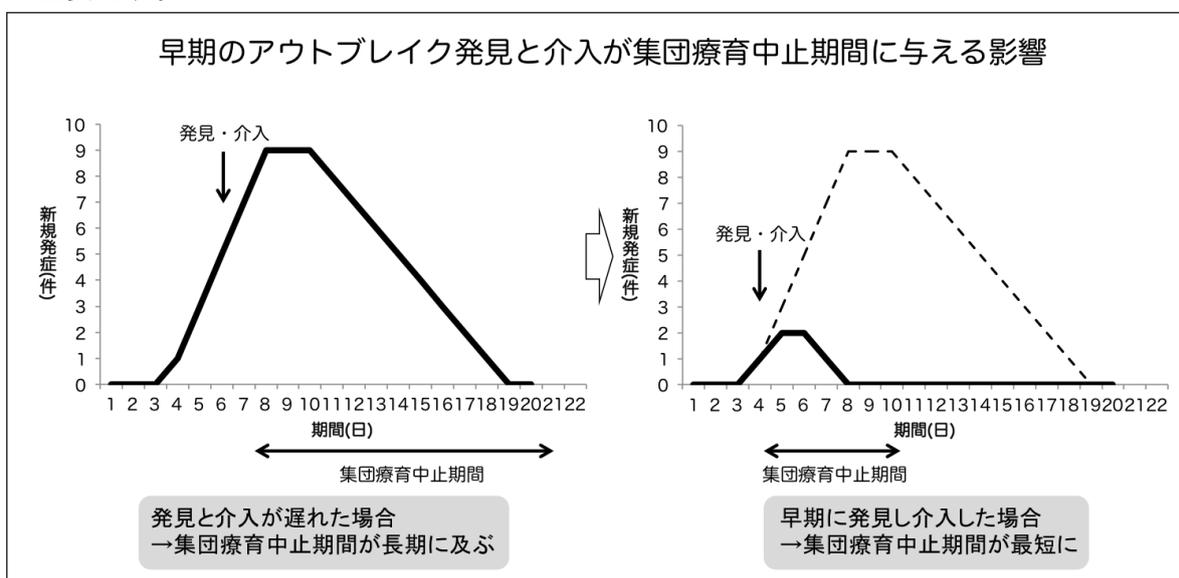
**重症心身障害児(者)施設向け
呼吸器症候群サーベイランス手順書 (案)
2017年6月2日 第1.0版**

-目次-

| | |
|---------------------------------|---|
| はじめに..... | 2 |
| 目的・指標・期間・報告頻度・感染判定の有無・判定基準..... | 3 |
| I. フローチャート..... | 4 |
| II-1. 報告書例(流行時)..... | 5 |
| II-2. 報告書例(流行終息時)..... | 6 |
| II-3. 報告書例(平時)..... | 7 |
| III. ワークシート..... | 8 |

はじめに

重症心身障害児(者)〔以下、重症児(者)〕の死因1位は呼吸器感染症です。私どもの調査研究では、①集団療育の一つである『ムーブメント』がRespiratory Syncytial (RS) ウイルス感染症、肺炎、呼吸器症候群(発熱と呼吸器症状の両方を有した状態)のリスクになること、②呼吸器感染症アウトブレイクを理由に、直近1年間に集団療育を中止したことのある重症児(者)施設が56%あることがわかりました(JSPC 科研費 26293458)。『ムーブメント』のような集団療育では、標準的な感染対策(患者毎の手指衛生・個人防護具交換・共有玩具の清拭消毒等)が困難なために呼吸器感染症アウトブレイクを防止できず、やむを得ず集団療育を中止している状況と考えられます。しかし、集団療育は重症児(者)の機能維持と発達に重要な活動であり長期間の中止は好ましくありません。特に介入が遅れると感染が拡大して結果的に中止期間が長くなるため、アウトブレイクを早期に発見することが重要です。



このたび、アウトブレイクを早期に発見するためのツールとして『重症児(者)施設向けの呼吸器症候群サーベイランス手順書(案)』を作成しました。ご活用いただければ幸いです。本手順書案は完成版ではありません。ご試用いただき、忌憚のないご意見、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2017年6月2日

作成 西岡 みどり (国立看護大学校)
 高山 直樹 (国立看護大学校/国立病院機構天竜病院)
 網中 真由美 (国立看護大学校) 森 那美子 (国立看護大学校)
 白井 正浩 (国立病院機構天竜病院) 豊田 敦 (国立病院機構天竜病院)
 藤田 烈 (帝京大学医学部臨床研究医学講座)

問い合わせ先

〒434-0015 静岡県浜松市浜北区於呂 4201 番 1 号 天竜病院 高山 直樹
 Tel: 053-583-3111 E-mail: takayaman@d17.ncn.ac.jp

〒204-8575 東京都清瀬市梅園 1 丁目 2 番 1 号 国立看護大学校 西岡 みどり
 Tel: 042-495-2211(内線 5420) E-mail: nishiokam@adm.ncn.ac.jp

*なお、本手順書(案)は JSPS 科研費 JP26293458 の助成を受けたものです。

目的・指標・期間・報告頻度・感染判定の有無・判定基準

1. 種類

重症心身障害児(者)施設における呼吸器症候群サーベイランス

2. 目的

呼吸器感染症アウトブレイク兆候の早期察知・集団療育一時中止/再開タイミングの評価

3. 指標(単位)

呼吸器症候群の新規発症件数(件)

4. 期間

通年

5. 報告頻度

- 1) 発症時、または発症件数の増加時はただちに
- 2) 発症なし、または発症件数が増加していない場合は月1回程度

6. 呼吸器症候群判定基準^{a)}

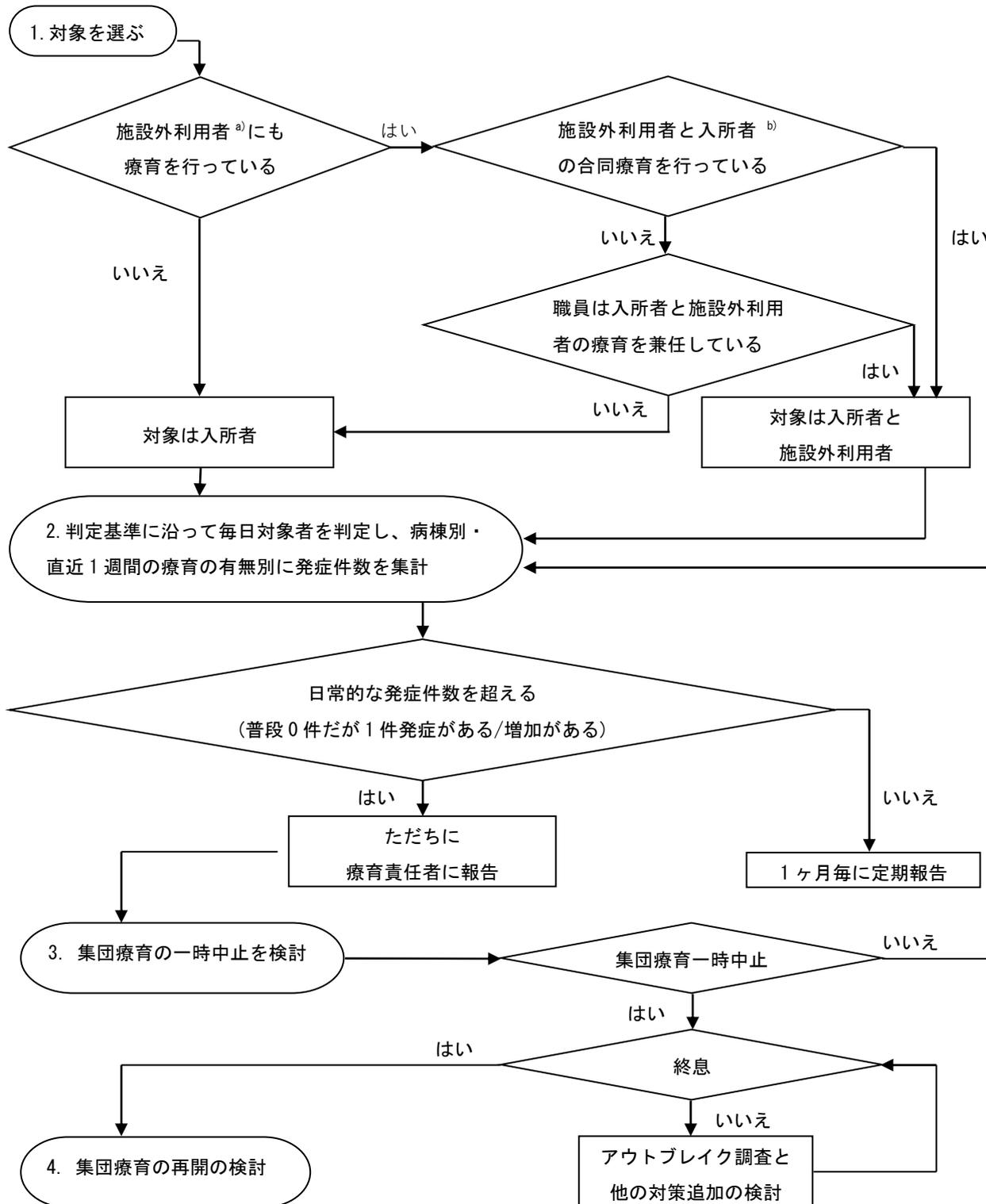
2日間連続して腋窩温で38.0度以上の発熱があり、かつ呼吸困難やパルスオキシメーター93%以下への低下、粘液性の分泌物の増加、咳嗽のうち1つ以上の徴候がある

a) 脳性麻痺患者を対象とした呼吸器感染症に関する研究における判定基準をもとに作成

Veugelers, R., Calis, E. A., Penning, C., Verhagen, A., Bernsen, R., Bouquet, J., et al. A population-based nested case control study on recurrent pneumonias in children with severe generalized cerebral palsy: ethical considerations of the design and representativeness of the study sample. *BMC Pediatrics*. 2005, 19(5). doi:10.1186/1471-2431-5-25.

I. フローチャート

I. 手順



a) 施設外利用者：2日以上在院しない者、例) デイサービス利用者など

b) 入所者：2日以上施設に在院する者、例) 入院患者、ショートステイ利用者など

II-1. 報告書例(流行時)

II. 報告書例

職員各位

2017年12月2日

感染担当〇〇〇〇

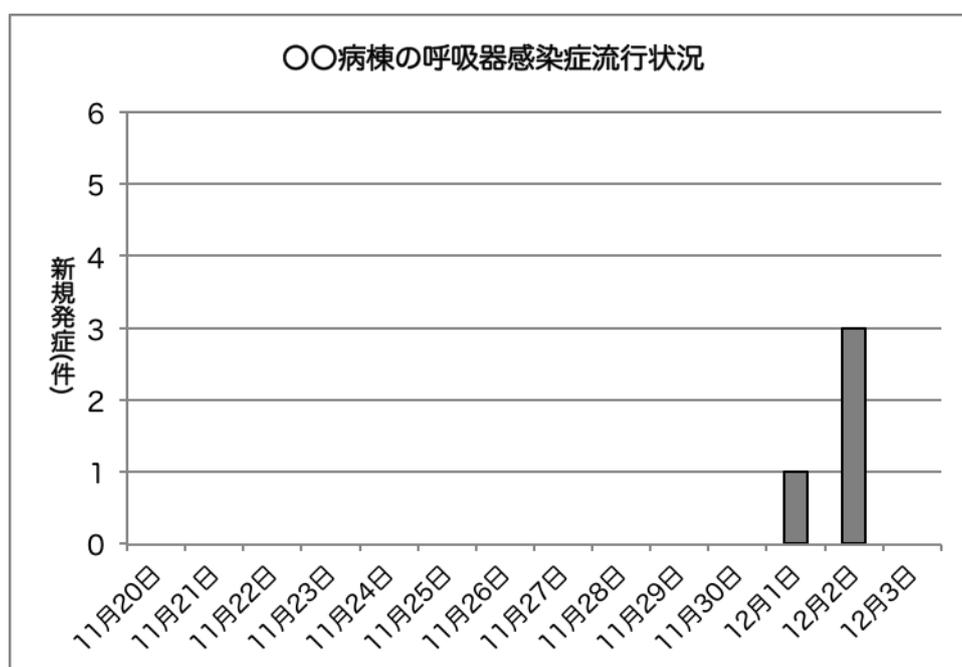
呼吸器感染症流行の兆候があります 集団療育の一時全面中止の検討が必要です

昨日より〇〇病棟に呼吸器感染症流行の兆候があります。発症患者はすべて直近1週間に集団療育を行っていました。

ムーブメントなどの集団療育の一時全面中止や、個別療育への変更を検討する必要があります。感染担当者にご相談ください。症状のない患者も発熱や呼吸器症状の観察を強化して下さい。特に、一週間以内に集団療育に参加した患者の発症に十分注意して下さい。

また、職員の健康チェックを強化し、職員が発症した場合には、就業制限について感染担当者にご相談下さい。症状のない職員も自らが呼吸器感染症を媒介しないよう規則正しい生活を心がけ、十分な休養を取り、健康管理に留意してください。

その他、ご不明な点がありましたら、感染担当者〇〇(内線〇〇)までご連絡ください。



II-2. 報告書例(流行終息時)

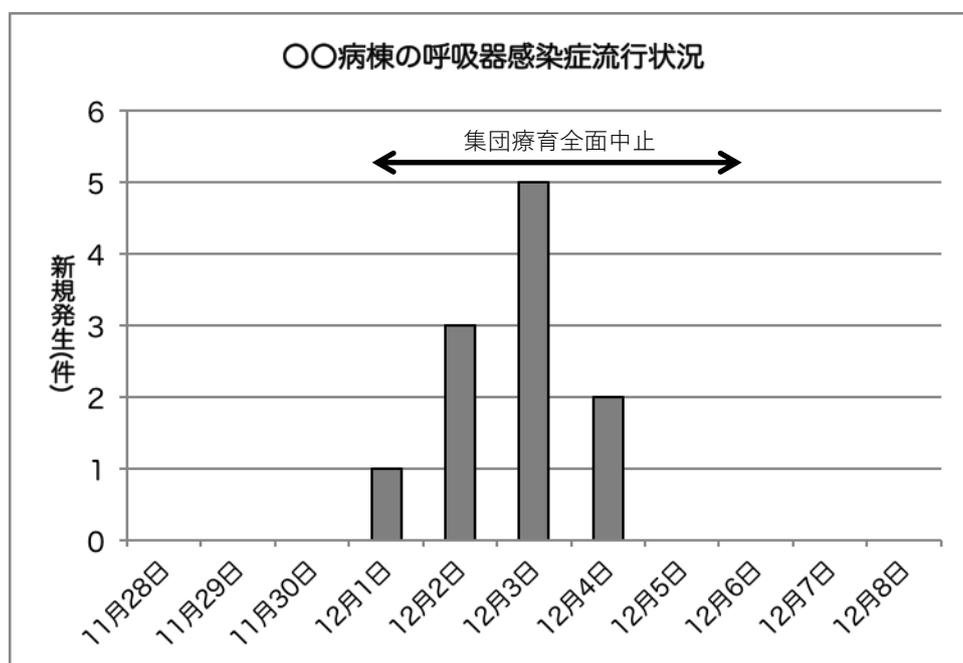
II. 報告書例
職員各位

2017年12月7日
感染担当〇〇〇〇

呼吸器感染症流行が終息の傾向にあります

〇〇病棟での呼吸器感染症流行兆候を受け、集団療育を一時全面中止をしていましたが、流行終息の傾向にあります。12月5日から新たな発症はありません。集団療育の再開をご検討ください。

その他、ご不明な点がございましたら、感染担当〇〇(内線□□□□)までご連絡ください。



II-3. 報告書例(平時)

II. 報告書例

職員各位

2017 年 11 月 8 日

感染担当〇〇〇〇

呼吸器感染症流行の兆候はありません

〇〇病棟の呼吸器症候群サーベイランスの結果を報告します。

皆様の日頃の感染対策へのご協力により現在、呼吸器感染症流行の兆候はありません。引き続き有症状者の観察を継続してください。

ご不明な点がありましたら、感染担当〇〇（内線□□□□）までご連絡ください。

〈呼吸器感染症流行状況〉

〇〇病棟

（直近 1 週間療育参加有り）

発症は 10 月 10 日、10 月 25 日にそれぞれ 1 件

（直近 1 週間療育参加無し）

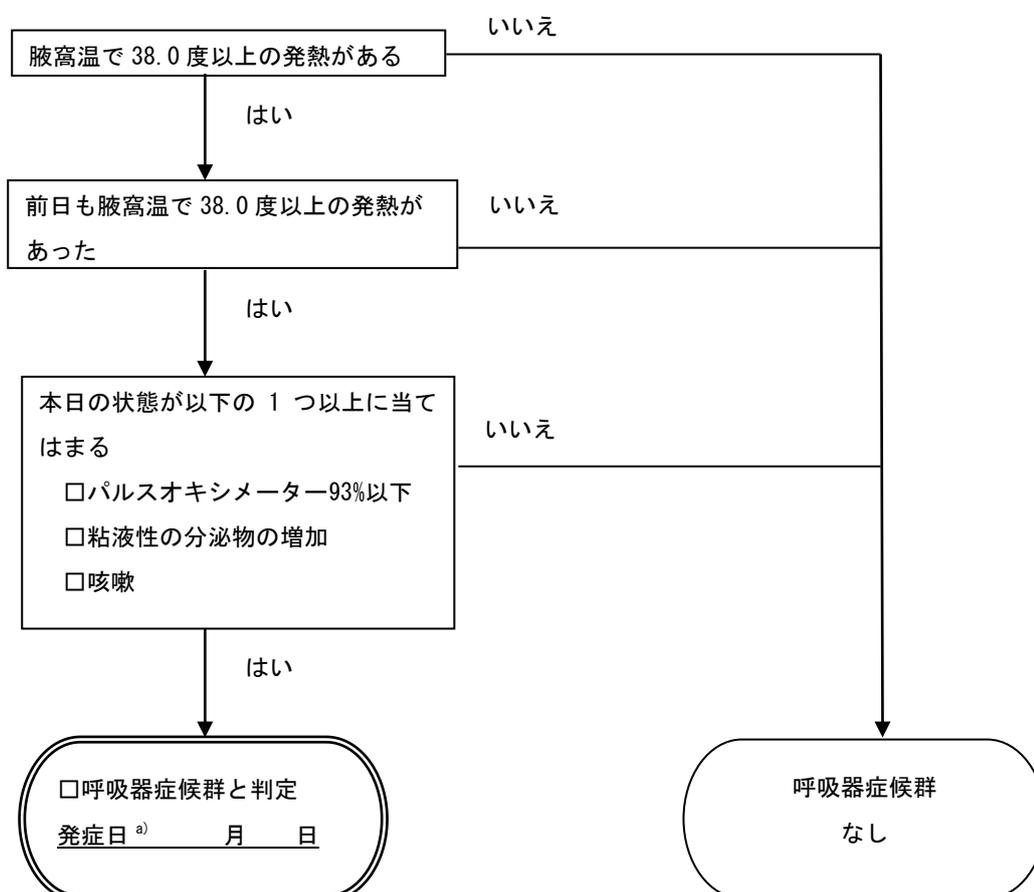
発症はありません。

施設外利用者

発症は 10 月 21 日に 1 件

Ⅲ. ワークシート

| | | | |
|---|--|----|--|
| ID | | 氏名 | |
| <input type="checkbox"/> 施設内(病棟)・ <input type="checkbox"/> 施設外利用 | | | |
| 直近1週間の集団療育参加 <input type="checkbox"/> 有り・ <input type="checkbox"/> 無し ↓ [<input type="checkbox"/> 病棟療育 <input type="checkbox"/> ムーブメント <input type="checkbox"/> スヌーズレン <input type="checkbox"/> 散歩 <input type="checkbox"/> 院外行事 <input type="checkbox"/> その他()] | | | |



a) 発症日：判定基準の1、2、3のすべてを満たした日※発症者のシートのみ毎日、感染担当者〇〇に提出して下さい

※判定基準：脳性麻痺患者を対象とした呼吸器感染症に関する研究をもとに作成

Veugelers, R., Calis, E. A., Penning, C., Verhagen, A., Bernsen, R., Bouquet, J., et al. A population-based nested case control study on recurrent pneumonias in children with severe generalized cerebral palsy: ethical considerations of the design and representativeness of the study sample. *BMC Pediatrics*. 2005, 19(5). doi:10.1186/1471-2431-5-25.